

平成29年度事業報告

事業の概要

定款第3条の目的である「学術研究の助成及び知識の普及を図る」ため、下記諸事業を行った。

1. 研究等助成事業（定款第4条第1号）

(1) 海外渡航費 3件 300,000円

「生命科学分野における遺伝学に関する基礎的、学際的研究及び関連する諸技術等の研究」のため海外渡航費助成の公募を別紙募集要項により行い、選考委員の選考結果に基づく審査により、海外渡航費の助成を行った。

(2) 研究会助成費 1件 142,736円

若手研究者を奨励する「第30回モロシヌス研究会」に助成を行った。

(3) 所属研究団体日本遺伝学会の活動として、木原賞・奨励賞の授与を行った。

2. 講演・講習会等開催事業（定款第4条第2号）

(1) 三島市と遺伝学普及会は連携協定締結事業として

「夏休み子ども遺伝学講座」を8月に「遺伝学講座・みしま」を2月に開催した。

(2) 所属研究団体日本遺伝学会の主催で、年次大会（第89回大会 岡山大学）

を開催した。

(3) 所属研究団体日本遺伝学会の主催で、第17回遺伝学談話会を3月3日に近畿大学

農学部で開催した。

3. 遺伝学に関する知識の普及と向上をはかるための事業（定款第4条第3号）

(1) 雑誌「遺伝」編集委員会において、雑誌「生物の科学「遺伝」の編集を行い、

隔月6冊を株式会社エヌ・ティー・エスより下記のとおり発行した。

「生物の科学「遺伝」

2017年 5月号 特集「発酵・醸造食品における多様な微生物の働き」他

2017年 7月号 特集「遺伝学はこんなに面白い！」他

2017年 9月号 特集「ipsの社会的意義」他

2017年11月号 特集「生物のナビゲーションを科学する」他

2018年 1月号 特集「日本海の生き物と環境」他

2018年 3月号 特集「腸の世界Ⅱ～腸内マイクロビオータと疾病」他

(2) 「生物学普及書」編集委員会において、遺伝学・生物学関連の図書（ポピュラーサイエンス）をシリーズものとして、(株)裳華房より発行を計画していたが29年度中の発行はなかった。

(3) 国立遺伝学研究所の協力により、(株)エフエムみしま・かんなみにおいて普及会放送事業サイエンスNOWを実地した。

(4) 所属研究団体日本遺伝学会機関紙「Genes & Genetic Systems」を隔月1回発行した。

(5) 所属研究団体日本遺伝学会を中心とする各種委員会活動を行った。

4. 遺伝学に関する教育資料の頒布事業（定款第4条第4号）

教育研究資料の頒布等を下記のとおり実施した。

・冊子	「遺伝研のさくら」5版	235冊
・絵葉書	「国立遺伝学研究所の桜」〔Ⅱ〕	23部
	「国立遺伝学研究所の桜」〔Ⅱ〕 + 〔Ⅲ〕	23部
・桜マグネット		63個
・CD-ROM		28枚

5. 動植物に関する優良品種の普及事業（定款第4条第5号）

(1) 変化アサガオの種子及び絵葉書「国立遺伝学研究所のアサガオ」の頒布を行った。

・変化アサガオの種子		
・絵葉書	「国立遺伝学研究所のアサガオ」	23部

6. その他前条の目的を達成するために必要な事業（定款第4条第6号）

(1) 国立遺伝学研究所の委託を受けて桜樹木維持管理及び接木事業を行った。

そ の 他

1. 維持会員

法人の目的を達成し、健全な事業活動を維持するために必要な財政基盤を増大するために維持会員の募集を行った。

法人維持会員が1法人減り、1法人休会の申し出があった。

平成30年3月31日現在 団体会員 10社 13口 個人会員 2名 8口

2. 遺伝学振興基金

平成29年度中にはありません。